

## 第 56 回全国 IE 年次大会 ご案内

# 「復興日本～未来を拓く ものづくりへの挑戦」 ～頑張ろうものづくり、今こそ日本力～

**と き** 2015 年 7 月 1 日 (水)～7 月 3 日 (金)

**ところ** 仙台国際センター (仙台市青葉区青葉山 TEL : 022-265-2211)

- 内 容**
- 1 日目 全体会議  
開会挨拶、日本 IE 文献賞表彰式、講演、交流会
  - 2 日目 事例発表会 (2 分科会)  
第 1 『グローバル競争に勝ち抜くものづくり』  
第 2 『競争優位を支える現場づくり・人づくり』
  - 3 日目 見学会・被災地視察 (4 コース)

### 主催

日本インダストリアル・エンジニアリング協会  
中部インダストリアル・エンジニアリング協会  
関西インダストリアル・エンジニアリング協会  
九州インダストリアル・エンジニアリング協会  
東北インダストリアル・エンジニアリング協会  
(担当事務局)

### 協賛

北海道生産性本部  
(公財) 日本生産性本部  
(一財) 中部生産性本部  
(公財) 関西生産性本部  
四国生産性本部  
(公財) 九州生産性本部  
東北生産性本部

### 後援

宮城県  
東北経済産業局  
(一社) 東北経済連合会  
(一社) 宮城県経営者協会  
仙台経済同友会

# 大会組織

## 大会会長

日本インダストリアル・エンジニアリング協会会長	日本電気(株)代表取締役 執行役員社長	遠藤 信博
中部インダストリアル・エンジニアリング協会会長	トヨタ自動車(株) 顧問	林 南八
関西インダストリアル・エンジニアリング協会会長	住友電気工業(株)常務取締役生産技術本部長	川井 文義
九州インダストリアル・エンジニアリング協会会長	TOTO(株) 代表取締役副社長執行役員	猿渡 辰彦
東北インダストリアル・エンジニアリング協会会長	リコーインダストリー(株) 取締役専務執行役員	幾野 光彦

## 大会副会長

(株)東芝 執行役常務	長谷川功宏	パナソニック(株) 常務取締役	野村 剛
日産自動車(株) 取締役副社長	松元 史明	(株)ポタ 取締役専務執行役員 生産技術本部長 安全衛生推進本部長	小川謙四郎
日本電気(株) 代表取締役執行役員副社長	安井 潤司	東洋紡(株) 執行役員 生産技術総括室長	大東 照夫
(株)日立製作所 執行役常務 CTO 兼研究開発グループ長	小島 啓二	オムロン(株) 執行役員 グローバルものづくり革新本部長	吉川 浄
(株)ブリヂストン 常務執行役員	関口 匡一	新日鐵住金(株) 交通産機品事業部 製鋼所長	宮原 光雄
大同特殊鋼(株) 代表取締役副社長	新貝 元	トヨタ自動車九州(株) 代表取締役副社長	大村 英一
大同メタル工業(株) 代表取締役会長兼最高経営責任者	判治 誠吾	日産自動車九州(株) 代表取締役社長	柴崎 康男
(株)デンソー 顧問技監	土屋総二郎	(株)安川電機 執行役員生産・業務本部長	吉田 一昭
トヨタ自動車(株) 代表取締役副社長	須藤 誠一	NECトーキン(株) 代表取締役執行役員社長	小山 茂典
日本特殊陶業(株) 代表取締役副社長	大島 崇文	北日本電線(株) 取締役社長	児玉 治正
(株)神崎高級工機製作所 代表取締役社長	山岡 靖幸		

## 実行委員長

リコーインダストリー(株)取締役専務執行役員	幾野 光彦
------------------------	-------

## 副実行委員長

トヨタ自動車東日本(株)取締役副社長	石井 善章
--------------------	-------

## 実行委員

### リーダー (運営委員長)

リコーインダストリー(株)執行役員・東北事業所長	川村 眞康
--------------------------	-------

### 実行委員

トヨタ自動車東日本(株)ものづくり研鑽室宮城グループ長	山下 和美	(株)ユアテック技術開発センター所長	佐藤 正則
NECトーキン(株)ものづくり支援本部本部長	白石 雅彦	東北工業大学環境エネルギー学科助教	野澤 壽一
北日本電線(株)電線事業部製造部保全 G リーダー	齋藤 浩二	精英堂印刷(株)製造部次長	山田 俊一
NEC ネットワークプロダクツ(株)生産技術部長	竹内 逸郎	トヨタ紡織東北(株)宮城工場主査	堀添 肇
リコーインダストリアルソリューションズ(株)花巻事業所シニアスペシャリスト	畠山 雄一	リコージャパン(株)宮城支社支社長	尾形 長蔵
迫リコー(株)事業企画室担当課長	沼倉 貴記	(株)TTM 仙台支店支店長	里見 誠
リコーインダストリー(株)プリンティング事業部シニアスペシャリスト	尾形 博之	清水建設(株)東北支店上席マネジャー	小畑 悌夫
トヨタテツ東北(株)取締役社長	水野 寛司	通研電気工業(株)生産本部副本部長兼生産管理部長	星野 俊弘

2015年4月1日現在

## 大会趣旨

日本経済は、緩やかな回復基調にあるが、当面の課題は、持続的な経済成長と財政再建を両立させ、15年間におよびデフレから脱却できるかであり、それには日銀の金融緩和で得られた猶予期間に、岩盤規制の打破とも言われる成長戦略、法人税減税、雇用改革、医療改革などの規制改革を、様々な制度上の桎梏を乗り越え実施することが急務であります。



東日本大震災から4年を経過し、復旧から復興へとフェーズは変移しているものの、人手・資材不足及び価格高騰が各所で散見し、復興への足かせとなっており、今後は、組上の復興事業を加速し、生活基盤の整備や産業復興と雇用創出に邁進する必要があります。

この様な現況の中、激しい環境変化に対応し、厳しいグローバル競争を勝ち抜くため、優秀な技術を数多く持つ日本の製造

業は、その高度な技術を結集し垣根にとらわれることなく、その総合力で勝負するなど新たな視点に立ったものづくりに取り組んでいかなければなりません。その結果、新しい価値を生み出すイノベーションや新産業の創出などが実現し、市場のニーズを満たすだけでなく、新しい市場を生み出し、成長につながると考えられます。併せて、これまで以上に愚直な改善の積み重ねによって、現場力を今までもまして高めていくことが必要となります。

このような見地から、2015年度を迎えての「第56回全国IE年次大会」では「復興日本～未来を拓くものづくりへの挑戦」～頑張ろうものづくり、今こそ日本力～を統一テーマとして、基調講演、特別講演、先進的事例、現場見学会、被災地視察等を通じて、今日の製造業の在り方を考究します。

## 1日目 全体会議【7月1日(水)】 会場：2階「橘」

- |             |   |   |   |
|-------------|---|---|---|
| 13:30～13:40 | <b>開会主催者挨拶</b>                                    | 東北インダストリアル・エンジニアリング協会会長<br>リコーインダストリー(株)取締役専務執行役員   | <b>幾野 光彦</b>  |
| 13:40～13:50 | <b>祝 辞</b>  |   |   |
| 13:50～14:10 | <b>第44回日本IE文献賞表彰式</b>                             |   |   |
| 14:10～15:30 | <b>基調講演 「ものづくり企業の未来への挑戦」</b>                      | 株式会社リコー 取締役専務執行役員   | <b>山下 良則 氏</b>  |
|             |   | 1980年 広島大学工学部卒業、株式会社リコーへ入社<br>2002年 画像生産事業本部生産統括センター生産革新室長<br>2004年 画像生産事業本部生産統括センター所長<br>2010年 執行役員<br>2011年 常務執行役員<br>2012年 取締役専務執行役員<br>ビジネスソリューションズ事業本部長    |  |
| 15:30～15:45 | <b>休 憩</b>  |   |   |
| 15:45～17:15 | <b>特別講演 「厳しい困難にもかかわらず ～Against all the odds～」</b> | 東北楽天ゴールデンイーグルスシニアアドバイザー<br>仙台大学副学長、東北大学客員教授兼総長顧問  | <b>マーティ・キーナート 氏</b>   |
|             |   | 1968年6月スタンフォード大学、政治学部卒業。1969年3月慶応大学国際センター日本語コース修了。スタンフォード大学在籍中に、特別交換留学生として慶応大学へ交換留学。1965年初来日。卒業後、1969年再来日し、慶応大学インターナショナルセンター、日本語コース修了。以来一貫、日米を通じたスポーツビジネスに身を置く。 |  |
| 17:15～17:20 | <b>次期開催地会長挨拶</b>                                  | 中部インダストリアル・エンジニアリング協会会長<br>トヨタ自動車(株)顧問  | <b>林 南八</b>   |
| 17:30～18:45 | <b>交流会 会場：2階「桜」</b><br><b>祝 辞</b>                 |   |   |

この機会に参加者相互の親睦と交流をはかっていただきたいと存じますので、ぜひご参加下さいませようお願い申し上げます。

第1分科会		第2分科会	
グローバル競争に勝ち抜くものづくり		競争優位を支える現場づくり・人づくり	
10:00	<b>「まち・ひと・しごと創生」と組織・企業の役割</b> <span style="float:right">日本</span> — 伊藤園等の事例から考える — (株)伊藤園 常務執行役員 CSR推進部長 <b>笹谷 秀光氏</b> ①「まち・ひと・しごと創生」とモノづくり ②「まち・ひと・しごと創生」に企業はどう参加するのか ③問われる「社会対応力」「共有価値創造力」「人材力」	10:00	<b>工程間同期化1コ流し生産を基軸とした生産革新活動</b> <span style="float:right">東北</span> リコーインダストリー(株) プリンティング事業部 第1生産センター生産技術室 室長 <b>佐藤 広幸氏</b> ①受注～お届けまでのSCMプロセス全体を捉え、工程間同期化1コ流し生産の深化と拡大 ②お客様起点でのものづくり改革の実践を通じ、総コスト低減に取り組んだ事例 ・工程改善・品質向上への取り組み・人材育成
11:00		11:00	
11:15	<b>グローバル化に対応したエンジン生産体制再構築</b> <span style="float:right">関西</span> ヤンマー(株) 小型エンジン事業本部生産統括部生産技術部 部長 <b>和田 喜之氏</b> ①地域・事業領域から見た最適地生産体制の構築 ②国内生産体制の再編成 ③海外生産展開と体質強化	11:15	<b>見える化ツールを活用した、現場主体の改善活動</b> <span style="float:right">中部</span> ～TPSを基本にしたモノづくり～ アンデン(株) 生産管理部 岡崎工場改革推進室 室長 <b>山村 尚徳氏</b> ①会社指標とリンクした現場の生産性指標 ②見える化ツールを活用した現場主体の改善活動 ③作業のプロ集団づくり(人材育成)
12:15		12:15	

〈昼食・休憩〉

13:30	<b>矢崎のグローバル展開に対する考え方</b> <span style="float:right">中部</span> 矢崎総業(株) 相談役 <b>福川 和彦氏</b> ①矢崎のグローバル展開の基本方針と事例紹介 ②各国に跨る営業拠点・生産拠点間の緊密な関係 ③技術の伝承と人材育成	13:30	<b>安心して働ける職場づくり 安全の3つの基本管理</b> <span style="float:right">東北</span> SWS 東日本(株) 部品事業部 一関工場 主幹 <b>内海 尚氏</b> ①不安全要素を排除する職場づくりを行うため、安全に対する感受性豊かな人づくりを推進するもの ②「3つの基本管理」にて、職場の安全が維持されているかを、日々確認する仕組みを紹介
14:30		14:30	
14:45	<b>グローバルものづくり人財育成</b> <span style="float:right">関西</span> オムロン(株) グローバルものづくり革新本部 ものづくり人財開発部部長 <b>陳 建龍氏</b> ①グローバルでのものづくりマネージャーの育成 ②グローバルでの生産プロセス革新人財の育成 ③グローバルでの開発人財の育成	14:45	<b>自動プレスライン段取り改善</b> <span style="float:right">九州</span> (株)戸上コントロール 部品製造課係長 <b>江頭 康二氏</b> ①多品種小ロット化生産対応を目的としたライン停止時間をいかに最小限に抑えることができるかの挑戦 ②現場作業員・スタッフによる職場独自の課題改善、作業改善取り組み活動の紹介 ③マグネットスイッチ用部品のプレス加工現場の段取り改善事例
15:45		15:45	
16:00	<b>グローバルに製品競争力を持つモノづくりへの対応</b> <span style="float:right">日本</span> 日立オートモティブシステムズ(株) グローバルモノづくり統括本部 主管 <b>黒木 達郎氏</b> ①日立オートモティブシステムズ(株)における海外現地化状況 ②お客様が満足する製品を造る『モノづくり』への対応 ③グローバル人財育成動向	16:00	<b>東北の仲間と「とも」に歩むものづくり研鑽活動</b> <span style="float:right">東北</span> トヨタ自動車東日本(株) 理事 兼 ものづくり研鑽室長 <b>佐藤 栄一氏</b> ①トヨタ自動車東日本(株)として新たにスタート ②地域の皆さんと一緒に取り組む改善活動 ③S(シンプル) S(スリム) C(コンパクト)に拘ったものづくり
17:00		17:00	

第1分科会		第2分科会	
リコーインダストリー(株)プリンティング事業部 第一生産センター生産室室長 <b>永沼 辰也氏</b>	フタバ産業(株) 生産技術本部 生技開発部部長 <b>中西 良行氏</b>	リコーインダストリアルソリューションズ(株) 花巻事業所グループリーダー <b>斉藤 隆芳氏</b>	北日本電線(株)電線事業部 電線事業部製造部保全Gリーダー <b>齋藤 浩二氏</b>
慶應義塾大学教授・同大学大学院経営管理研究科委員長・同大学ビジネス・スクール校長 <b>河野 宏和氏</b>	ヤンマー建機(株) 生産企画部 生産企画課係長 <b>田中 俊明氏</b>	新日鐵住金(株)交通産機品事業部 製鋼所 総務部 IE室 <b>田村 豊氏</b>	
NEC ネットワークプロダクツ(株) 生産技術部長 <b>竹内 逸郎氏</b>			

コーデイネーター

同時開催!!  
**情報システム／ものづくりツール展**

**富士通(株)・デジタルプロセス(株)**

**仮想工程計画・生産ラインシミュレーター「GP4」**

仮想工程計画・生産ラインシミュレーター GP4 は、グローバル生産の効率化、低コスト化を実現し、経験の無い初めてのライン構成でも、生産諸元を定量的に算出、理論的に最適プランを決定出来ます。

**デジタル生産準備は「VPS」**

実機の代わりに3次元デジタルデータを活用し、組立生産準備における製品レビューから製造指示に至る業務プロセスを一貫して支援。圧倒的な機能と操作性でものづくりのQCD向上に貢献します。

**リコーインダストリー(株)・リコージャパン(株)**

**現場の異常検知・原因究明にお役立ちする「オールラインレグナイザー」**

最大8つのカメラで異常を捉え、瞬時に通報、長時間録画による原因解析も可能なマルチファンクションシステムです。簡単に設置が可能、LANにより遠く離れた現場の状況も分かります。お手軽に導入できる不具合対策、効率向上に有効なツールです。

**作業員頼りの目視検査を数値化・自動化する「外観検査装置」**

これまで人の目に頼っていた、キズ、ムラ、打痕等の欠陥を自動検査・判定する装置です。感光ドラム等、光沢がある被写体の微細な欠陥も識別可能です。省人化のみならず、熟練者に頼っていたり、人の目では判別できないレベルの欠陥も識別・判定可能です。

**遠隔でのデザインレビューを実現する「インタラクティブホワイトボードD5510」**

図面や資料を「写す」「書く」「共有する」事が可能なタッチセンサー搭載型のディスプレイの活用で、デザインレビューその他の会議や打ち合わせの場で、より正確なコミュニケーションが図れます。更に海外を含めた遠隔での接続が可能、テレビ会議システムとの連携で遠隔地とのリアルタイムな共有が可能になります。

# 3日目【7月3日(金)】見学会・被災地視察

## Aコース トヨタ自動車東日本(株)

### Aコース

トヨタ自動車東日本は、2012年7月、中部、九州に次ぐ国内第3の拠点として設立された。  
お客様に愛される時代のニーズにあった高品質な車をお届けするために、車両のデザインから設計、開発、生産までを一貫して行っており、要であるエンジンの組立、足回り、ユニット部品の製造も行っている。  
また、企業内訓練校「トヨタ東日本学園」にて現場の核となる人材を育成し、東北におけるものづくり基盤強化を図っている。

### (株)一ノ蔵

1973年に「浅見商店」「勝来酒造」「桜井酒造店」「松本酒造店」の4蔵が企業合同として誕生。創業当時から良い米を使い、手間暇をかけ、良い酒を造るという姿勢を貫き、日本酒造組合が定める手づくりの条件を満たす伝統の技を生かし続けている。手づくりによる酒造りの蔵の現場見学ときき酒を体験する。

### 基本スケジュール

仙台駅(東口駐車場)＝「トヨタ自動車東日本(株)」＝  
9:00発 10:00～12:00  
《昼食》大郷町・道の駅おおさと ふるさとプラザ＝  
12:20～13:20  
松山町「(株)一ノ蔵」＝仙台駅(東口駐車場)  
14:00～15:30 17:00着

## Bコース リコーインダストリー(株)

### Bコース

リコーインダストリー株式会社は、確かな技術力と生産力を基盤に、画像システム製品、及び製品に搭載されるキーパーツ/キーサプライの生産を担っている、そして新規事業領域など次世代へ向けた技術開発を行っている会社です。  
ものづくりは「工程間同期化1コ流し生産」を機軸に徹底したムダの排除と生産革新活動を行っている。

## キリンビール(株)仙台工場

1923年に操業開始、東北地方で一番長い歴史を持つビール工場。30万平方メートル(東京ドーム7個分)の敷地で、「キリン一番搾り生ビール」を主力生産。東日本大震災では、貯蔵タンク15基のうちの4基が倒壊、また津波被害にも遭遇したが、従業員と近隣住民等481名の無事避難完了し、常日頃からの「津波避難ビル」としての役割を果たした。工場見学と共に大震災からの完全復旧への道筋の講話も聴講する。

### 基本スケジュール

仙台駅(東口駐車場)＝柴田町「リコーインダストリー(株)東北事業所」＝  
9:00発 10:00～12:00  
《昼食》柴田町内・陣屋＝震災後復旧したキリンビール仙台工場＝  
12:15～13:15 14:30～16:25  
仙台駅(東口駐車場)  
17:15着

## NEC トーキン(株)

### Cコース

NEC トーキンは、1938年東北大学・金属材料研究所の研究成果の実用化を目的に設立され、「素材革新を基に人と地球の豊かな調和と発展に貢献するグローバル企業」を企業理念に事業活動を行っている。  
白石事業所は、磁性材料、圧電材料をコア材料として、EMC製品、圧電製品、EMD製品およびセンサ・モジュール製品を民生、産業、環境・エネルギー、医療、車載等各種市場に提供している。

## アイリスオーヤマ(株)

1971年にアイリスオーヤマの前身である大山ブロー工業として創業。「快適生活」をキーワードとして暮らしを豊かで快適なものづくりを实践、生活者の潜在的な不満を解消するソリューション型商品を作り出している。商品は、プリンター等の園芸用品、ペット用品、クリア収納ケース等の収納用品。最近では、家電製品やLED照明、更には東日本大震災の被災地支援として、精米事業にも参入している。工場の工程及び評価センター(技術開発)を見学する。

### 基本スケジュール

仙台駅(東口駐車場)＝白石市「NEC トーキン(株)白石事業所」＝  
9:00発 10:00～11:30  
《昼食》白石市内・割烹 大上＝角田市「アイリスオーヤマ(株)角田事業所」＝  
11:45～12:45 13:30～15:30  
仙台駅(東口駐車場)  
16:30着

## 東日本大震災被災地視察

### Dコース

東日本大震災から4年が経過し、全国の犠牲者15,891名、行方不明者2,584名(4月1日現在)で、この大多数は沿岸地区に集中しており、建造物の被害も甚大です。800名を超える死者・行方不明者を出し、町の中心部が壊滅的な被害を受けた南三陸町を訪問し、復興の状況を町役場幹部より聴講する。また自宅を津波で流されるなど、自らも被災者となった南三陸ホテル観洋のスタッフが「語り部」となって街の様子を見て回るだけではわからない実体験・教訓を伝えます。現在震災遺構として残すか議論されている南三陸町防災対策庁舎と石巻市立大川小学校の現状について視察する。



### 基本スケジュール

仙台駅(東口駐車場)＝南三陸役場【被災状況及び復興状況 説明】＝  
8:50発 11:00～11:45  
町内視察【防災対策庁舎】語り部ガイドのご案内で町内をめぐります＝  
11:55～12:10  
《昼食》南三陸ホテル観洋＝戸倉地区【復興状況 視察】＝  
12:45～13:35 14:00～14:20  
石巻市【被災した大川小学校 視察】＝仙台駅(東口駐車場)  
15:05～15:20 17:00着

## 開催・申込要領

**と き** 2015年7月1日(水)～7月3日(金)

**と ころ** 仙台国際センター(1・2日目) ※8ページの「会場略図」ご参照  
(仙台市青葉区青葉山) TEL 022-265-2211

**参加費** (1名につき)

		主催・協賛・後援団体にご加盟の		一 般
		法人会員	学識・アカデミー会員	
1日目(全体会議)	通常価格 + 5名以上同時申込	34,000円	15,000円	42,000円
2日目(事例分科会)		32,000円	—	39,000円
3日目(現場見学会・被災地視察)		12,000円(1コースにつき)		

(注)①1,2日目参加費には、交流会(7/1)、弁当代(7/2)、及び資料代、消費税を含む。  
②3日目(現場見学会、被災地視察)参加費には、貸切りバス代、昼食代、消費税を含む。  
但し企業見学会及び被災地視察のみの参加は不可。

## 申込要領

1. 以下の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、東北 IE 協会まで FAX または郵便でお申込みください。またホームページからも申込みできます。

特に、次の点にご注意ください。

- (1) 交流会 (1 日目) …参加・不参加のどちらかに○印をお付けください。
- (2) 事例発表会 (2 日目) …希望の分科会に○印をお付けください。
- (3) 見学会 (3 日目) …ご希望の見学コース (A～D コース) をご記入ください。



- ①各コースの定員は 40 名で、先着順に受け付けいたします。
- ②同業者の参加は、ご遠慮ください。他のコースに変更させて頂く場合があります。
- ③各コースの出発、解散の場所・時刻は予定です。
- ④全コースとも、昼食を準備しております。
- ⑤見学会のみのお申込みは、お断りしております。

2. お申込受付後、「参加証」「請求書」「見学会スケジュール」を【送付先】へお送りいたします。(見学会にもお申込みの場合は、ご送付が若干遅くなります。)

3. 申込締切日 **2015 年 6 月 25 日 (木)**

※事例発表会、見学会とも、定員になり次第締め切ります。

### 個人情報の取り扱いについて

1. 個人情報は、本大会の申込みに関する事務手続きのために使用します。但し当協会からのセミナーなどの開催案内のためにも使用場合があります。
2. 個人情報は、上記目的以外に第三者の開示、提供、預託することはありません。
3. 個人情報の開示、訂正、削除については、適切に対応致しますので、当協会お客様窓口にご相談下さい。

送付先：東北 IE 協会 行き [FAX 022-261-1474]

## 第 56 回全国 IE 年次大会参加申込書

加入主催団体	○印をお付けください (日本・中部・関西・九州・東北)
加入協賛・後援団体	団体名をお書きください ( )
主催・協賛団体の学識者	( ) 協会・( ) 生産性本部
学生	( ) 大学

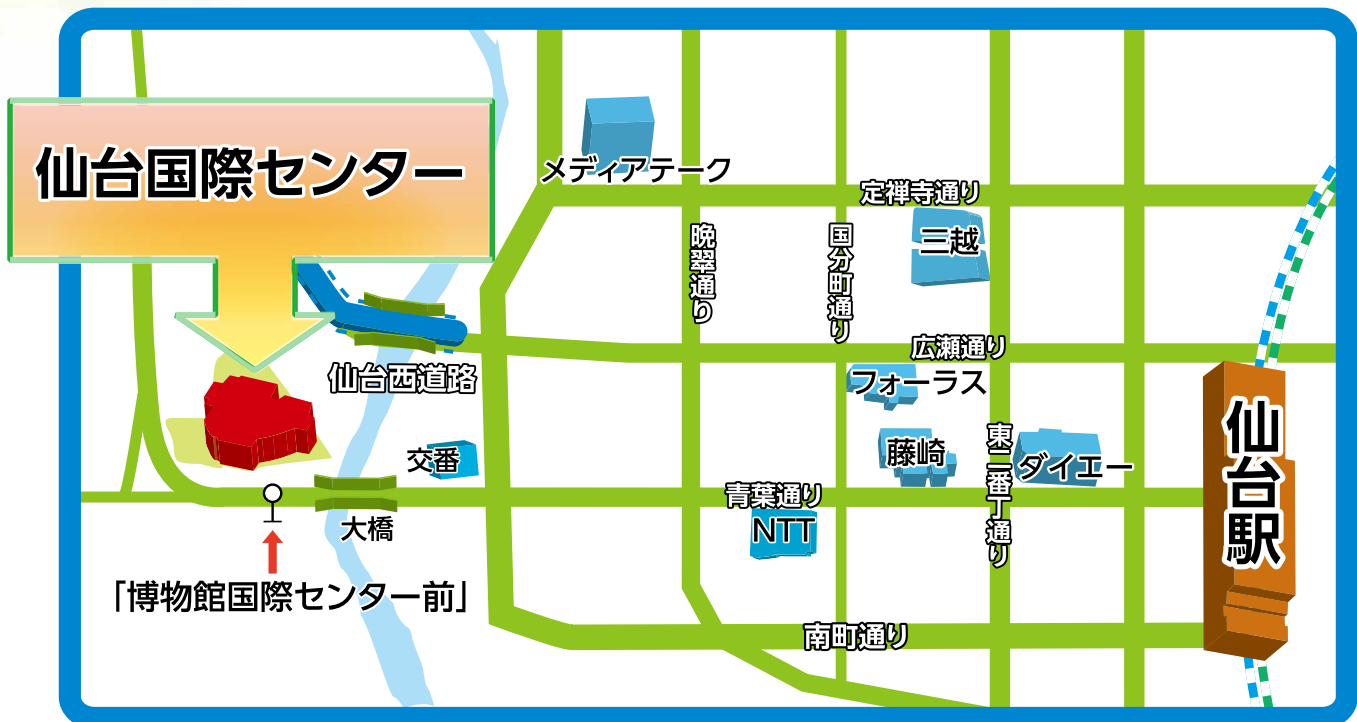
フリガナ			
会社・機関名			
所在地	(〒 — )		
参加証・請求書 【送付先】	(氏名・フリガナ)	TEL ( )	—
	(所属・役職名)	FAX ( )	—
		Eメール:	

参加者	氏名 (フリガナ)	所属・役職名	交流会 (7/1)	事例発表会(7/2)		見学会(7/3)	
				第一分科会	第二分科会	第1希望	第2希望
			参加・不参加				
			参加・不参加				
			参加・不参加				
			参加・不参加				
			参加・不参加				
			参加・不参加				

どちらかに○印をお付けください。

お申込みの場合、希望コース (A～D) をお書きください。

## 仙台国際センターへのご案内



### 仙台空港から

- ・仙台空港アクセス鉄道で仙台駅へ (約 25 分)
- ・タクシーで約 35 分

### 仙台駅から

- ・バスで「西口バスプール 9 番乗り場」から「博物館・国際センター前」まで約 10 分
- ・タクシーで約 7 分

### 日本インダストリアル・エンジニアリング協会

〒150-8307 東京都渋谷区渋谷 3-1-1 生産性ビル 7 階  
TEL : 03-3400-8715  
FAX : 03-3400-8694  
<http://www.j-ie.com/> (担当: 島田)

### 関西インダストリアル・エンジニアリング協会

〒530-6691 大阪市北区中之島 6-2-27 中之島センタービル 28 階  
TEL : 06-6444-6464  
FAX : 06-6444-6450  
<http://www.kpcnet.or.jp/kiie/> (担当: 南)

### 中部インダストリアル・エンジニアリング協会

〒460-0003 名古屋市中区錦 2-15-15 豊島ビル 11 階  
TEL : 052-221-1261  
FAX : 052-221-1265  
<http://www.cpc.or.jp/ie/> (担当: 杉田)

### 九州インダストリアル・エンジニアリング協会

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 2-1-82 電気ビル共創館 6 階  
TEL : 092-771-6481  
FAX : 092-771-6490  
<http://qpc.or.jp/> (担当: 安松)

## お申込み・詳細お問合せ先 (担当事務局)

### 東北インダストリアル・エンジニアリング協会 (担当: 松原・中村)

〒980-0014 仙台市青葉区本町 2-16-12 仙台商工会議所ビル 7 階  
TEL : 022-261-0411  
FAX : 022-261-1474  
<http://www.t-productivity-ce.jp/>